

# 淨青神奈川



大本山光明寺法主宮林昭彦台下御染筆



会長挨拶	2
宮林台下・横井教区長挨拶	3
前会長退任挨拶	4
執行部紹介	6
各組紹介	8
事業報告・新入会員、出向者紹介	10
卒業会員挨拶	11
平成26年度事業計画	12

第22期テーマ  
「深諦善念」  
～じんたいぜんねん～

第20代会長 伊藤 知道

# 「深諦善念」

（じんたいぜんねん）

第二十二期浄土宗神奈川教区青年会  
第二十代会長 伊藤 知道



この度、第二十二期浄土宗神奈川教区青年会会长に就任いたしました、港南組専念寺伊藤知道です。

本期の活動テーマを「深諦善念」（じんたいぜんねん）といきました。この言葉は『無量寿經』の中にあります歎仏頌の一節であります。意味は「深諦にして善く諸仏の教えを想念する」ということですが、これを私なりに解釈させて頂き、「自分の現状をしつかりと把握し、持てる力（知恵）を出し尽くして、浄土宗青年僧として何が出来るかを考え行動する」ととらえ、本期活動して参りたいと思つております。

昨年は、神奈川教区青年会にとって、四十周年という節目の年を第二十一期大谷会長のもと、会員一丸となって、乗り越えられました。その節目にあたり記念事業を四つ行つた訳ですが、その中の「寺集(てらづ

ど)」と銘を打つた事業がありました。これは「とにかく一人でも多くの人にお寺に来てもらおう」という趣旨の元に行つた事業でした。

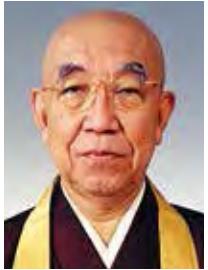
私も当時は副会長という立場にあり、微力ながらお手伝いをしました。当日現場に行き、目にしたのは沢山の人と賑やかな催し物、参加者・出店者・来場者、みんなの楽しそうな姿でした。私が青年会に入会して十四年経ちますが、この様な事をしていくのが青年会なのではないのかなど、その時は漠然と感じました。私が本期の会長になり、どのような事業を開いていこうかと、考えた時、「寺集をもう一度、開催できないか」という思いと、寺集に来ていた友人達・仲間達が「あのイベントは、もうやらないの？・もう一度、行ってみたい」という声を沢山頂きました。その自分の気持ちと友人達や仲間達の声に応えるべく、本期も行うことになりました。そして今度は、前回の時より人々が、僧侶やお寺に触れ合つてもらえる様なものを、本期の「寺集」として展開していきたいと思つております。

また、運動不足になりがちな三十代僧侶の健康促進の為にも、見学会はなるべく、公共機関や徒歩での移動を促進し、あまり会費も掛からないよう

考えておきたいと考へております。



さらに本期にてもう一つ事業を行いたいと思つております。それは、「他宗団見学会」です。この事業は、主に親睦事業として行う予定でいます。他宗や他宗教の伽藍や施設を見学し、今後の青年会活動や自坊への参考にして頂く事と、会員同士の交流が目的であります。何卒、よろしくお願ひ申し上げます。



## 浄青の活動に期待をこめて

大本山光明寺法主 宮林昭彦 台下

このたび神奈川浄青二十二期会長 己を開眼するところにあります。

として伊藤知道上人が御就任され、新役員のもとに心機一転して活動が進められることに慶びと共に大きいなる期待を申し上げます。

『淨青神奈川』も四十号迎えられた

間、老衲の歳になると、論語の四十不惑を思い出します。宗祖上人が四十三歳念佛回心された心境を慮かると凡夫は心意を量ることは不遜ですが、唯、応じて教化するかということです。現不惑の心、尊佛の心に勤めることのみ、代という尺度で仏教を見出み心にかなうものと存じます。

会長が「深諦善念 諸仏法海」（深諦として善く諸仏の法海を念じ）の文をテーマにされたことは当を得たことと敬意を表します。

宗祖上人が患者の自覚を説かれたのは単に安易な他力の生き方によることを説かれたのではなく、真実の自

「隨處作主、立處皆真」（臨濟録）といふ言葉がありますが、これはいついかなるところでも主となる、そうすればすべては眞実であるという意味であります。



## 今と未来

神奈川教区教区長 横井隆彦 上人

神奈川浄青の皆様には、日頃なにか

とお世話になつております。誠にありがとうございます。昨年度の貴会は、四十周年の記念の年であり、且つ、関東ブロックの大会など大きな行事が目白押しという感じでした。日頃の積み重ねがあつて、大きな行事が完成する

という見本を見たような気がいたします。

宗祖のみ教えは、まさに時機相応で

す。様々な問題が提起されている現代、

佛教徒、とくに若い念佛者はいかに対

思っています。そのためには、まず、よき

法然上人の御教えの実践にあると

私は、浄青会員も教師も、信条は、

法然上人の御教えの実践にあると

思っています。そのためには、まず、よき

社会人であらねばなりません。ところ

が、私自身、振り返つてみると我の強

くなつた自分に唖然とすることがあ

ります。社会生活を営むためには、主

張をしなければならないときが当然あ

ります。その時やその後に、行き過ぎ

が大切です。とくに浄青の方々には将

來に向かつて青少年教育教化を通じ、

病める魂をしつかり育てることに指導的役割を果たされんことを大いに願つて粗辞御祝いの御挨拶といたします。

本尊様の前に座り、毎日懺悔文を唱えます。知らず知らず何十年も経ちまし

がとうございます。た。さらにお念佛を称えてきました。

その積み重ねで、心の平穏を願う術が身についたのかもしれません。宗教的霧雨気のこもつたご本堂に居られることに深い感謝の念を抱くのです。

# 会長退任挨拶

第二十一期浄土宗神奈川教区青年会  
第十九代会長 大谷 正元



皆様のご理解ご協力のもと、浄土宗神奈川教区青年会二十一期を無事円成する事が出来ました。改めて皆様のお陰と感謝致しております。

第二十一期は運営テーマを「矜持・未来創造」とし、何事にも臆する事無く、不可能を可能に出来得る組織であると邁進して参りました。

今期は、関プロ総会並びに研修会の主幹、当会創立四十周年という良縁に恵まれ、当に組織力強化には絶好の機会であります。そこで、この創立四十周年に託けて、既存の編集委員会、関プロ実行委員会とは別に「事業」「法要」「式典」「記念誌」の四委員会を立ち上げました。各委員会へは会員全員を配置し、青年僧侶として英知と勇気と情熱を持つて、化他の門を開くべく自己研鑽抜かりなく邁進して参りました。

## 【第四十回関プロ総会並びに研修会】

関プロ総会並びに研修会を神奈川教区青年会が担当、主幹となり、開催させていただきました。震災の影響から三年掛りで関プロ実行委員会が軸となつて運営致しました。

法然上人のみ教えは、八〇〇年の時を経た今も輝き続けています。そして、今だからこそひとつでも多くの氣付き、学び得る場とし念仏の源を尋ね、根を培うべく「心眼」を研ぎ澄ます機会となり、更なる教化活動の礎となるよう大会運営テーマ「令心眼見、今だから

氣付くこと」という『観經』の一節を軸として研修会を開催致しました。過去最高の参加者が集う会を目指に据えて精進しました。結果、一三九名の会員がご参会下さいました。当に、関プロ全事業のみならず、全淨事業等にコミットし開催PR横断幕を抱えて参加した賜物と自負しています。また神奈川教区より過去最高額の支援を頂戴した事や会員が勇気と知恵を振り絞つて立ち向かつたからに他ならないと考えます。これら担当、主幹を務める大会・事業に関しては、会員数の拡大、減少に関わらず積立も一案かと思われます。しかし、関プロ理事会に於いて、今後会費の定額制は地域性や社会経済状況等も鑑みて排除する旨、承認されました事をここに報告いたします。

## 【事業委員会】

今成すべき事を丁寧且つ確実に行動する。それ無くしては理想とする未来には成り得ません。つまり、行動し、発信すること無くしては善し悪しの評価に繋がらないのであります。社会と家族と会員相互との調和を保ち必要とされる組織づくりを目指して運動展開したのがこの委員会でした。これまで、神淨青事業で最も多く会員が参加する事業が忘年会、もしくはソフトボール大会でした。ここにメスを入れるべく企画参加型の事業、「寺集めてらつど」を開催致しました。

会員七八名、来場者九四八名となり、初めての企画事でこれだけの方々を巻き込んだのは大きな一步であると確信致しております。今回は、多くの理解者と委員の勇気と情熱のお陰で運営費も少額で開催出来ました。しかし、今回は、場所を大本山光明寺にて開催させていただきましたが、各寺院単位で人の集う寺を目指して行つていただきたいと願つております。また、本事業を継続して行うのであれば、本来の目的から反対しまわぬ事が肝心であります。また、天候に左右されると、天候に左右されると感じています。

## 【式典委員会】

横浜ベイシェラトンホテルに於いて四十周年記念式典・祝賀会を開催させていただきました。当日は、大本山光明寺御法主宮林台下、横井教区長はじめ、多くの御来賓歴代会長、歴代会員、そして現会員、總数二七名の参加者と共に貴重な時を過ごす事が出来ました。

## 【編集委員会】

浄青奈川発行、中間報告発行、ホームページを会員向けとしてアーカイブ(倉庫)作成、五年毎に発行していくます。浄青手帳の発行と活発的に活動致しました。

## 【追記】

この他、二十一期は、理事会時の改良服着用義務、ペーパーレス会議の推進等、英知と勇気と情熱をもつて運動展開して参りました。また、今後も全淨・関プロ事業には積極的にご参加下さる様、心がけていただきたいと強く念じております。

「化他の門を開くべく自己研鑽抜かりなく、常に自行・化他・和合の自行念仏に他ならない我々僧侶としての根幹の委員会がありました。これまで、大本山光明寺に於いて開催して参りました「大別時念仏会」を敢えて各組、各寺院単位で開催する事を推進してい

く為に、過去の資料を精査し、データ化する事が出来ました。会員各自坊が地域に根ざした念仏実践道場として、地域のコミュニティツールのひとつとしての役割を担うべく、今後に期待しています。また、歴代物故会員への御回向のため、位牌・過去帳をこの四十周年を機に作成させて頂きました事は大きな喜びであります。当会に於いての法要の際には御回向下さる事を念じておられます。

## 【記念誌委員会】

神淨青の教科書と成り得る物を後世に残す為の記念誌を目指しました。また、組織的目的意識の確認、即ち淨青信条の作成をこの委員会に委ねました。結果、神淨青の成り立ち、四十年の歴史、事業・運動の検証をする事が出来たと確信致します。これに関しては、是非「四十周年記念誌」をご参照下さい。必ずやこの組織に必要なものが見えてくる筈です。尚、信条作成に伴い、定款変更を致しました。今後は、この信条を諸会議開催前に集いし会員で唱和下さる事を念じております。

# 神淨青創立40周年



# 青役員紹介



**副会長  
小俣  
慶樹**

南無阿弥陀仏

この度、第22期伊藤知道会長のもと、副会長を務めさせて頂くことになりました小田原組 西念寺 小俣慶樹と申します。今期は103名の会員の中で、和合を柱とし伊藤会長の意に沿った活動をしていく所存でございます。

昨年は40周年を迎え、また新たな一步を歩み始めました。青年会でしか行えないこと、青年僧だから出来ること、しなくてはならないことを今一度考え改め、見聞を広めて参りたいと

思っております。この净青活動は、あくまでも導空二祖の流れをしっかりと学び、正しく伝えていくことが何よりの目的であることは言うまでもございません。その中の和合あります。

歴代、諸先輩の築いてこられた足跡をしっかりと踏襲し、より一層の精進と発展を目指していく所存です。1期2年、松江副会長と共に伊藤会長をお支えし、念仏弘通に邁進して参ります。何卒、ご教示ご叱正賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶とさせて頂きます。どうぞ宜しくお願い致します。

この度、神淨青第22期の監事を務めさせて頂く事となりました、京浜組良忠寺の森本有史でございます。

今期、伊藤会長が掲げたテーマ「深諦善念」。このテーマの下、神淨青103名が一丸となって、青年会活動に積極的に参加して頂ける様、微力ながらこの責務を全うして参る所存でございます。昨年度迎えた神淨青創立40周年を一つの通過点と捉え、気持ちを新たに、新執行部の一員として、会員の皆様にとって有

益な事業を作り上げるべく、鋭意努力して参ります。

執行部の皆様、各組理事の皆様、神淨青会員の皆様、2年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

**監事  
森本  
有史**



第22期相談役にご推挙いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。

神淨青に入会以来、大勢の方々との出会いがあり、淨青活動を通じて企画力や実行力を身につけることで自分を成長させることができました。そればかりか、会長ならびに関東ブロック副理事長をつとめさせていただき、得難い経験をすることができました。多くのことを学ばせていただいた淨青に心から感謝しております。

私も今年で43歳になりますので、あと1年で卒業と思っていましたが、神淨青へのご恩返しがまだ足りないということでしょうか、相談役としてあと2年、神淨青に関わらせていただこうこととなりました。

現役会員の皆様には、淨青において自分は何をしたいのかを見つけ、淨青に入ってよかったですように活動していただきたいと思います。私も淨青がそういう場となりますように、陰ながら伊藤会長を支え、精一杯務めてまいります。

この度、神淨青第22期会計を務めます港北組 心行寺 安田雄心です。どうぞよろしくお願い致します。

前期は大谷会長のもと執行部の一員として書記を務めさせていただきました。今期引き続き伊藤会長にお声をかけていただき執行部に呼ばれましたことは、何より光栄なことと思っています。

今季のテーマは「深諦善念」で、「今の自分の現状をしっかりと把握し、持てるものすべてを出し尽くして、浄土宗の青年僧

として何が出来るかを考えて行動する」との趣旨ということで。私たち青年会員はそれぞれ個性を持っています。英語を話す人もいればギターの演奏を得意とする人もいます。野球が好きな人もいればサッカーが好きな人もいるでしょう。その一人一人が自分の持つ個性を最大限に活かし、神淨青のさまざまな活動において一翼を担っていくことができたら、会として益々発展していくのではないかと思います。私は執行部としてその実現に向けたお手伝いができる喜びです。

**会計  
安田  
雄心**



この度、伊藤知道会長のもと、第22期神淨青書記を担当させて頂くことになりました、港南組阿彌陀寺の香川隆順です。

もとより浅学非才の身、このようなお役目をお引き受けする器ではないこと、重々承知を致しております。しかし、今期のテーマでもございます「深諦善念」を常に念頭に置きながら、自らもこの役割を通して深く考えをめぐらせ、多くのことを学び、経験させて頂くことの出来る大切な機会にしていきたいと

思っております。また、漸減しつつある神淨青会員ではございますが、三信条である「自行」「化他」「和合」のもとに、より会員相互の親睦を深めながら、今後の寺門の興隆、檀信徒の教化へと繋げさせて頂きたいと思っております。

つきましては、甚だ微力ではございますが、少しでも当会と皆様のお役に立てるよう精進をして参りますので、ご指導及びご鞭撻を賜れば幸いです。1期2年間、どうぞよろしくお願ひ致します。

今期、第22期伊藤会長のもと編集委員長という大役をお受けすることになりました高座組 西光寺の三浦康志です。自分にこのような大役が務まるか大変不安ですが、過去4期、計8年当委員会に所属させて頂いた経験を活かし、それぞれの編集委員長の教えをもとに努めていく所存です。

また編集委員には、京浜組 野呂宗幸会員・港北組 大橋雄人会員・港南組 香川隆真会員・高座組 坂本慎成会員・鎌倉組 烏居淳生会員・三浦組 三浦正順会員・中郡組 小川

勉道会員・小田原組 竹石光流会員の心強い8名に入っています。

編集委員と共に、伊藤会長の意向を聞きながら、神淨青機関紙『淨青神奈川』の発行、ホームページの充実等、今期事業の広報活動をさせていただきますので、2年間どうぞよろしくお願いいたします。

**編集委員長  
三浦  
康志**



## 第22期 神淨

この度、神淨青第22期伊藤知道会長のもと、副会長を務めさせて頂く事となりました三浦組 満宗寺 松江弘信です。

伊藤会長とは大正大学の同級生というご縁があり、共に淨青活動をして参りました。その会長よりお声をかけて頂き、まだ微力ではありますが副会長という大役を務めさせて頂きます。

今期、伊藤会長は活動テーマを「深諦善念」としています。神淨青も40周年が終わり、この40年間諸先輩方が積み重ねて来られた事を大いに活かし、若い僧侶だからこそ、より深

く何が出来るか、何をするべきかを多くの会員の皆様と一緒に考え務めていきたいと思っております。

その為にはより多くの会員に活動へ参加して頂き、多くのご意見を頂戴したいと思います。年々会員が減少していく昨今、中々参加出来ない方にもお声掛けをしていただきます様、全会員にお願い申し上げます。

会員の皆様と伊藤会長の橋渡しとなる様、小俣副会長と共に務めてまいりますので、2年間どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

副会長  
松江  
弘信



監  
大事  
大谷  
慈通

前期の神淨青創立40周年記念事業で、私は記念誌委員の一人として、歴代会長インタビューに携わり、歴代会長の淨青活動に対する熱い思いを直接お伺いすることが出来ました。そこにはやはり当然のことながら「自行・化他・和合」の理念が根本にあり、一淨土宗僧侶として、何をするべきかという青年僧が抱く理想や不安といったものを、仲間で話し合い行動し、一緒に答えを探していくういう、和合の大切さを感じるものでした。

伊藤会長の今期テーマは「深諦善念」。会長曰く、「一人で

この度、第22期浄土宗神奈川教区青年会相談役を務める事となりました。相談役とは辞書に「組織などで、重大な事項について助言し、紛議の調停などにあたる役職」とあります。今期のテーマは「深諦善念」です。深く、諦らかに、たとえ長続きしなくとも、繰り返し繰り返し挑戦してみることが大事であります。「できるか、できないか」ではなく、「やるか、やらないか」。目標に向かって努力し行動することが尊い事です。本会の

目的は、自行・化他・和合、最終的には宗門の興隆に寄与する事も含まれます。

困窮した時、相談役として本会の目的に沿って熟考し、「深諦善念」挑戦していきたいと思います。

相  
丸地  
裕信



会  
計  
後藤  
佳孝

この度、第22期神淨青会計を務めさせていただくことになりました港南組の後藤です。伊藤知道会長のもと「深諦善念」の理念をしっかりと受けとめて、一人ではなく神淨青会員全員と一致団結をして取り組んで参りたいと存じます。昨年、神淨青創立40周年を迎え、様々な事業が行われましたが、お互いに協力し合って取り組むことの素晴らしさを感じました。それは、先達者が築き上げたものが、しっかりと受け継がれていることと拝察致します。今振り返ってみると、この歴史なくして

記念事業が無事円成することは困難だったと思われます。今期の活動を通して、神淨青会員の絆がより一層深くなりますが、未熟な私でございますが、先輩諸師のご指導を賜りながら一生懸命会計の仕事を務めさせていただく所存です。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

事務局長  
石川  
仁恵



浄土宗神奈川教区青年会第22期事務局長に選任されました港南組 薬王寺 石川仁恵です。第21期には、神淨青40周年を迎えて今まで多くの活動や実績を重ねてこられました。青年会の重要な役に就いた事をとても喜ばしいと思うと共に、正直、荷の重さを感じております。至らない点も多いかと思いますが、40年の歴史に恥じぬよう1期2年の任期を精一杯やりぬこうと思っております。神淨青の理念である自行・化

他・和合のもと、会員相互の友情を深めると共に自己修練と社会教化に励んでいくる執行部作りをしながら、会員全員がより良く神淨青活動を行えるよう、運営してまいりたいと思います。これから2年間の任期の間、会員皆様のお力添えとご協力をお願い申し上げます。

事務局員



水谷 竜也



君島 広大



脇川 公暢



石井 康順



神崎 隆雄



伊藤 圭祐



岡川 貴淨

# 各組紹介



## 京浜組



会長  
専修 大志

この度、森本有史前会長の後任として会長の役を務めさせて頂くことになりました専修大志です。どうぞ宜しくお願い致します。

前期は神淨青創立四十周年を迎え、各会員が記念事業に携わりながら、寺院としての有り方や今後どう進むべきなのか、といふことを深く考え、実践する機会を頂きました。この経験を活かし、更に身近な事としてどうえるために、自分達の足元を見つめ直すという事を、今期の一つのテーマとして活動をして行きたいと考えています。具体的には、自坊の成り立ちはどうであったのか、どのように地域と共に歩んで

きたのか、現在どういった行事・活動をしているのか、青年僧としての悩みや今後やつてみたいたいと思うことは何か等々、各会員がまとめて発表することを考えています。

もう一つの事業として、京浜淨青は今期、教区長杯スポーツ交流大会の担当組となっています。京浜淨青らしい大会となるように、また多くの方々に参加して頂き、楽しんで頂けるように、組一丸となって大会の準備・運営を行いますので、宜しくお願ひいたします。

その他、神淨青の理事会報告会は今期も継続実施し、情報共有の徹底を図ると同時に、前述の発表会を行う等、報告に留まらずに会員間の親睦を深めていきます。

諸先輩方が築いて下さった、明るく一体感のある雰囲気が京浜淨青の一つの特徴です。その特徴を大切にしながら、一致団結して活動していくたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

## 港南組



会長  
大谷 宗通

「勅修御伝」聖典輪読会を例年通り鎌倉組と合同で行います。鎌倉組とは法式研修会並びに忘年会、布教研修会並びに新年会とともに合同で行い交流を図ります。

更に今期中に研修旅行を開催したいと考えています。会員からの希望を聞き取り、僧侶としての知識教養を深められ、また思い出に残る研修となる様に計画中です。

また、淨青婦人親睦会を行い、淨青会員の婦人の集まりを催し普段なかなか交流のない寺庭婦人同士の親睦を深めて頂きます。

今期、港南組の会長に就任致しました蔵田寺の大谷宗通と申します。前期は港南組の事務局を務めましたが、まだまだ淨青に携わった時間が少なく経験不足ではあります。しかし、一期

二年間を全力で努めたいと思っております。港南組の事業ですが、先ず、例年、塩澤先生を今講師にお迎えして行っている法式研修会を今期より高座組と合同で行う予定です。この研修会で異なる法式の知識を得ると共に、これを機に今まで交流の少なかった高座組との親睦を深めたいと考えております。

今期は港南組より神淨青会長が選出されておりますので、組としましても全面的に神淨青に協力し、盛り立てていきたいと考えております。

## 港北組



会長  
水谷 龍也

様々な分野の勉強を会員共々身に付けていくたく思っています。

この他に、新しい試みとして、前年度まで行った「港南・港北組青年会家族親睦会」を「合

同研修会」に変えて頂き、新たなスタートを踏み出そうと思います。(内容は未定です。)

多くの先輩方が卒業し、新体制に変わる年度になりました龍安寺 水谷龍也と申します。宜しくお願い致します。

この度、港北淨青会長を務めさせて頂く事になりました龍安寺 水谷龍也と申します。宜しくお願い致します。

輩方がご卒業され、今年度は総勢九名という人数で各事業を行って参ります。

事業計画としましては、年四回の研修会を予定しております。今年度は各回別々の先生にお願いさせていただき、法式や法話 それ以外にも

少ない人数ではありますが、少人数ゆえのモードに出来るよう、皆と試行錯誤しながら事業を進めて行きたいと思います。

少ない人数ではありますが、少人数ゆえのモードに出来るよう、皆と試行錯誤しながら事業を進めて行きたいと思います。

## 高座組



会長  
大谷 慎通

今期、高座組の私が神淨青の監事ということで、常任理事に鈴木崇仁君に就いて頂き、理事には坂本慎成君にお願いいたしました。また高座組から神淨青編集委員長に三浦康志君、関プロに香川陽祐君が出向いたします。総勢十三人。一時期に比べれば半減ですが、高座組らしく活動していきたいと思っています。

継続事業としては、塩澤智彦先生による法式勉強会を行います。今まで高座組単独でお会で異なる法式の知識を得ると共に、これを機に限定せず、積極的に他組と連携し、お互いに高座組と合同で行う予定です。この研修会で異なる法式の知識を得ると共に、これを機に今まで交流の少なかった高座組との親睦を深めたいと考えております。

今期は港南組より神淨青会長が選出されておりますので、組としましても全面的に神淨青に協力し、盛り立てていきたいと考えております。

今期からも、会員数減少のこともあり、今まで他組との合同事業の少なかった高座組



神淨青

## 鎌倉組



会長  
伊香輪 一曉

この度、閔谷会長の後を引継ぎ、鎌倉組淨青の会長を務めさせていただくこととなりました正光寺の伊香輪一曉です。

鎌倉組は昨年度で富田知敬上人がご卒業になり、会員数十九名で活動してまいります。今年度の事業としましては、港南組と合同で蓮勝寺柴田哲彦先生にご講義いただいている『勅修御伝』の講読研修会(七、八、十一月を除く毎月)、同じく港南組と合同で法式研修会、

また会員の高齢化が進んでいますので、若い会員が参加しやすい雰囲気作りを目指しています。鎌倉組は青年会長よりご指名頂き、ります、副会長の稻見公宏上人、事務局・理事の鈴木頼祥上人、会計の鳥居淳生上人をはじめ、皆様のご協力を頂戴して二年間精進してまいりますので、ご支援・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

## 中郡組



会長  
佐々木 元洋

多数の大学で宗教学の講義をされている二部靈山寺江島上人に講師をして頂き、世界の二大宗教から、その他様々な宗教、日本人の民族観と仏教などなど二年間かけて定期的に勉強していくことを考えております。

また、例年行われております、三万遍別時念仏会、法然上人二十五霊場寺院参拝、家族親睦会、海外研修事業等も継続して行う予定です。

そして、中郡淨青から伊藤圭祐会員、神崎隆雄会員、小川勉道会員が神淨青の執行部に出向いたしました。中郡淨青といましてもしっかりとバックアップしていきます。

会員みんなで力をあわせ、また諸大徳皆様のご指導を頂戴しながら活動を進めて行く所存でございますので、二年間何卒宜しくお願い申しあげます。

この度、浅学非才の身にありながら、中郡淨青の会長を任せられました、三部大宝寺佐々木元洋です。不徳の身であります、二年間会長を務めさせていただきます。どうぞ宜しくお願ひ致します。

今期の事業と致しましては、私たちが信仰するお念仏、仏教だけではなく、世界における様々な宗教について勉強していきたいと考えております。

## 三浦組



会長  
須田 應紀

本年、福本寺山本宗純会長よりご指名頂き、三浦組の青年会長を務めさせて頂くことになりました真光院の須田應紀です。これより二年間、よろしくお願いいたします。

私自身、情けない事ではありますが、組内一番遠方に住んでいる事を皆様が考慮下さり、今まで県の理事というものを受けた事が無いせいじめ、皆様のご協力を頂戴して二年間精進してまいりますので、ご支援・ご協力のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

組内におきましても、まだお若い不斷寺杉浦会員の皆さんに引っ張られる、頼りない会長であります。私は、今期、浄土宗神奈川教区青年会伊藤知道会長が第一回理事会でおつやった「深諦善念(じんたいぜんねん)」の説明での「皆様と何が出来るか?皆様と深く考え、精一杯行動しよう」、この一節を心に刻み有意義な任期を目標として頑張る所存です。どうぞよろしくお願いします。

## 小田原組



会長  
大場 得法

浄事務局員、竹石光流編集委員が出向致します。

事業と致しましては、①六月に特別研修会として、つむぎの会(子供を亡くした親のわかつあいの会)代表 田中幸子先生をお迎えしてお話

を戴きます。②来年、平成二十七年四月は大本山善光寺様の御開帳の年でございます。それに合わせてこの機会に勉強会、研修旅行を行います。二月と三月に、小田原組善光寺・松陰英宣上人、春光院・石川琢道上人にご講義を戴きます。この他に、義捐金托鉢、親睦会、忘年会、毎年恒例の歳末助け合い托鉢を実施する予定であります。

神淨青の事業も含め積極的に参加し、明るく仲良く活動してまいりたいと思っております。

未熟者でございますが、精進努力してまいりますので二年間何卒宜しくお願い申し上げます。

# 浄土宗神奈川教区青年会 平成25年度 事業報告

月	日	内 容	場 所
4月	5日(金)	※三大本山関プロ浄青別時念仏会	大本山増上寺
	15日(月)	第1回理事会	大本山光明寺
	15日(月)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
	16日(月)	第6回式典委員会	大本山光明寺
	16日(月)	第6回記念誌委員会	大本山光明寺
	19日(金)	第9回事業委員会	大本山光明寺
	19日(金)	第7回法要委員会	大本山光明寺
5月	1日(水)	第7回記念誌委員会	大本山光明寺
	7日(火)	第10回事業委員会	大本山光明寺
	14日(火)	第7回式典委員会	大本山光明寺
	31日(金)	第2回理事会	大本山光明寺
6月	4日(火)	第11回事業委員会	大本山光明寺
	12日(水)	第9回法要委員会	大本山光明寺
	17日(月)	※第40回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 神奈川教区	横浜中華街ローズホテル
	24日(月)	第8回式典委員会	大本山光明寺
	26日(水)	第8回記念誌委員会	大本山光明寺
	26日(水)	第12回事業委員会	大本山光明寺
7月	2日(火)	大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
	9日(火)	第3回理事会	大本山光明寺
	23日(火)	第10回法要委員会	大本山光明寺
	24日(水)～26日(金)	※関東教化センター第65回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
	29日(月)	第9回式典委員会	横浜ベイシェラトンホテル
	30日(火)	第9回記念誌委員会	大本山光明寺
8月	26日(月)	第14回事業委員会	大本山光明寺
	28日(水)	※全淨第9回全国大会 担当 和歌山教区	ウエスティンホテル大阪
	30日(金)	第11回法要委員会	大本山光明寺
9月	3日(火)	第10回記念誌委員会	大本山光明寺
	4日(水)	※第1回 尋源培根塾	大本山増上寺
	5日(木)	第10回式典委員会	大本山光明寺
	10日(火)	第15回事業委員会	大本山光明寺
	11日(水)	第4回理事会	大本山光明寺
	14日(土)	神淨青創立40周年記念事業「てらつど」	大本山光明寺
	19日(木)	第12回法要委員会	大本山光明寺
10月	26日(木)	第11回式典委員会	大本山光明寺
	7日(月)	大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
	14日(月)	第5回理事会	大本山光明寺
	28日(月)	十夜托鉢	大本山光明寺
	31日(木)	第13回法要委員会	大本山光明寺
11月	3日(木)	第12回式典委員会	大本山光明寺
	13日(水)	※関プロスポーツ交流大会 担当:東京教区	夢の島総合運動場
	19日(火)	神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:小田原組	酒匂川スポーツ広場
	21日(木)	第12回記念誌委員会	小田原組 三寶寺
	25日(月)	第14回法要委員会	大本山光明寺
12月	29日(金)	※全淨別時念仏会	仙台市 愚鈍院
	5日(木)	臨時総会・第6回理事会・忘年会	横浜中華街ローズホテル
	10日(火)	第13回記念誌委員会	大本山光明寺
	12日(木)	第13回式典委員会	大本山光明寺
1月	19日(木)	第15回法要委員会	大本山光明寺
	15日(水)	第16回法要委員会	大本山光明寺
	20日(月)	第14回式典委員会	大本山光明寺
	24日(金)	第7回理事会	大本山光明寺
	26日(日)	御忌別時念仏会・神淨青遷化上人追悼法要	大本山光明寺
	28日(火)	※第2回 尋源培根塾	大本山増上寺
	29日(水)～30日(木)	第14回記念誌委員会	大本山光明寺
2月	29日(水)～30日(木)	※全淨第39回総合研修会	大本山増上寺
	3日(月)	第15回式典委員会	大本山光明寺
	13日(木)	第16回式典委員会	横浜ベイシェラトンホテル
	18日(火)	第17回法要委員会	大本山光明寺
	27日(木)	神淨青創立40周年記念式典	横浜ベイシェラトンホテル
3月	27日(木)	第15回記念誌委員会	大本山光明寺
	1日(土)	※関プロ念仏大会・40周年記念パーティー	大本山増上寺
	6日(木)	第16回記念誌委員会	港南組 阿弥陀寺
	12日(水)	第17回記念誌委員会	港北組 蓮勝寺
	13日(木)	第18回法要委員会	大本山光明寺
	17日(月)	第18回記念誌委員会	中郡組 南蓮寺
	25日(火)	第8回理事会	大本山光明寺
	31日(月)	神淨青創立40周年記念誌発行	大本山光明寺

## 新入会員紹介



①氏名(僧名) ④所属寺院 ⑦ニックネーム  
②生年月 ⑤血液型 ⑧趣味、特技  
③行事成績 ⑥好きな食べ物 ⑨好きな芸能人

①伊藤 寿徳(イト ジュトク)  
②平成2年5月  
③平成23年12月  
④京浜組 寿福寺  
⑤AB型  
⑥毎日の弁当  
⑦ゆかり  
⑧温泉巡り、アロマオイル  
⑨特になし



①土川 憲弥(ツチカケンミ)  
②昭和61年2月  
③平成25年12月  
④三浦組 清楽寺  
⑤O型  
⑥刺身、肉  
⑦特になし  
⑧読書  
⑨特になし



①皆川孝頭(ミカワコウヘイ)  
②昭和63年7月  
③平成25年12月  
④小田原組 光照寺  
⑤A型  
⑥茶碗蒸し  
⑦こうけん たかあき  
⑧カラオケ・ペットの世話  
⑨壇れい

事務局員  
香川 陽祐



常任理事  
伊藤 知道



理事  
小俣 慶樹

## 関プロ出向者紹介

会員一同 つづ込んでお祈り申し上げます  
京浜組大徳寺村上誠司会員  
照蓮社進譽上人興裕誠司和尚  
平成二十六年四月二十六日  
四十二歳でご遷化されました

# 卒業会員挨拶



京浜組 大徳寺  
加藤 光成

浄青活動は、目一杯やったとしてもたかだか20年、されど20年です。同じ20年なら自分なりに記憶に残る20年を作りましょう。



港北組 蓮勝寺  
柴田 文彦



港北組 専念寺  
大谷 正元



高座組 清久寺  
上田 裕法



中郡組 晴雲寺  
塚田 勝宣



中郡組 西光寺  
一光照



小田原組 報身寺  
荒井 吾仁



小田原組 光明寺  
岩崎 正伸

私が浄青に入会したのは大学を卒業した年でした。東京のあるお寺に奉職させていただき、そこに同じ組の先輩がおり、浄青に入らないか?と誘っていただいたことがきっかけで入会しました。最初は右も左もわからない状態でしたが、色々な行事に参加するうちにとても勉強になりました。浄青最後の年には40周年記念式典委員長の大役を務めさせていただき、無事に終える事ができ感謝の気持ちでいっぱいです。浄青に入会し本当に私自身を成長させる事ができ、これから的人生にもいきしていく有意義な浄青活動でした。これからも神淨青は続く訳ですから今いる皆様は積極的に浄青の行事に参加して何か自分自身につながる物をつかんで行ってもらいたいと思います。最後に本当に20年間お世話になりました。

浄青卒業をするにあたり、今迄過ごした約19年間の活動で入会当時何も分からなかった自分に、多くのことを経験し学び成長させていただきました。そして、出会った沢山の仲間を作ってくれた浄青にお世話になりましたことを感謝致しています。神淨青の益々のご発展と、現役会員皆様のご活躍を祈念申し上げます。

宗派やそれぞれの寺院を護り、様々な活動をされている浄青会員の皆様には大変申し訳ないのですが、私は保育園の運営ばかりに傾倒し過ぎて殆ど参加をしませんでした。多くの仲間を得る機会を自ら閉ざしてしまったようで、今はとても後悔しております。

神淨青の会員の皆様には、大変お世話になりました。会社員として働きながらのため、なかなか事業等に関わることが出来ませんでしたが、関わさせていただいた時は、温かく迎え入れていただき本当にありがとうございました。

これからの皆様の益々の発展とご活躍を祈念致します。

長い間、神淨青の会員の皆様に大変お世話になり有難うございました。

会員として様々な事業等に関わらせて頂き、いざ卒業となった今、様々な思い出が甦ります。これからの皆様の益々の発展ご活躍を祈念いたします。

神淨青を卒業するにあたり、会員の皆様はじめ、お世話になった全ての方へ心より御礼申し上げます。会員皆がこの会を皆から必要とされる存在価値、存在意義のある会として発展させ、継続させていく事を願っております

卒業を迎える自分も宗祖立教開宗の年齢になった事に改めて感慨深い思いです。浄青での最良の事は、先輩後輩を含め良き仲間に様々な活動を通して出会えた事だと思っています。そこには良い事ばかりではなく辛く苦しく、時には悲しい事もあり、それを共有出来たからこそ良き仲間になれたのだと思っています。どうぞ皆様も活動を通して苦楽を共有し良き仲間と巡り合い、これからのお浄土宗の教化活動の発展に繋げてもらいたいと思います。

卒業を迎えて今感じるのは、四苦八苦、良き学び舎。この組織の偉大さに今更ながらに気が付いた。良き先輩・良き仲間との出会い。そして、様々な経験が自分の財産である。日々、感謝。ありがとうございました。

時間が過ぎるのは、本当に早いものですね。私も青年会を卒業と聞き、改めて感慨深く感じております。自坊以外に私が普段勤務している職場が、大きな事業がスタートしたにも関わらず、人手不足が改善されぬまま、いよいよ事態は深刻になってきております。関連する業務から、多忙となり、青年会の事業活動には、ほぼ出席できないままの卒業となってしまいました。お力になれず誠に申し訳ございません。非常に心残りではあります、卒業後も何卒よろしくお願い申し上げます。

活動の思い出は、全浄神奈川大会、横浜スタジアムでのソフトボール大会、中郡浄青新聞の発行等です。後輩へのメッセージは神淨青50周年に向けて目的・目標をしっかりと持って飛躍していってほしいものです。

ここにちは、中郡組西光寺の一光照です。  
本年で浄青を卒業することになりました。会員の皆様には大変お世話になりました。

私は、普段は企業へ勤めに行っており、中々活動する事ができず、皆様にはご迷惑をおかけしておりました。

その参加した活動の中でも、ソフトボール大会は、とても楽しい思い出が残っております。

私は卒業を致しますが、どこかでお会いする機会は沢山ありますので、その時は、また宜しくお願ひいたします。大変お世話になりました。

小田原組内で行われた勉強会、托鉢、またあまり参加できませんでしたが神淨青での活動と、そのどれもが印象深く貴重な経験がありました。卒業に際して青年会の益々の発展と皆様のご活躍を祈念申し上げます。

大変多くの学びの場をご提供頂き、又、大変多くの出会いを頂きまして有難うございました。一生忘れません。少しだけ時間が出来ますので、地元の皆様の為に有意義に使っていきたいと思います。

## 平成26年度 浄土宗神奈川教区青年会 事業計画

月	日	事 業 内 容	場 所
4月	10日(木)	第1回理事会	大本山光明寺
4月	17日(木)	定期総会・入会式・卒業式	大本山光明寺
5月	21日(水)	第2回理事会・新旧役員歓送迎会	草正樓
6月	18日(水)	※第41回関プロ浄青総会 並 研修会 担当 埼玉教区	浦和ロイヤルパインズホテル
7月	1日(火)	機関紙「浄青神奈川」第40号発行	浄土宗神奈川教区青年会
7月	2日(水)	大本山光明寺開山忌前清掃奉仕	大本山光明寺
7月	2日(水)	第3回理事会	大本山光明寺
7月	28日(月)~30日(水)	※関東教化センター第66回夏期僧堂手伝い	大本山光明寺
8月	27日(水)	※全浄第10回全国大会 担当 東京教区	東京ドームホテル
9月	12日(金)	第4回理事会	大本山光明寺
9月	17日(水)	第1回 他宗団見学	鎌倉五山
10月	7日(火)	第5回理事会・大本山光明寺十夜前清掃奉仕	大本山光明寺
10月	14日(火)	十夜托鉢	大本山光明寺
10月	22日(水)	※関プロスポーツ交流大会 担当:千葉教区	未定
11月		神奈川教区長杯スポーツ大会 担当:京浜組	未定
12月	1日(月)	第6回理事会・忘年会	未定
1月	23日(金)	第7回理事会・御忌別時念佛会	大本山光明寺
1月	未定	第2回 他宗団見学	鎌倉五山
2月		※全浄第40回 総合研修会	未定
3月	16日(月)	第8回理事会	大本山光明寺
		「寺集～てらつど～」	大本山光明寺



神浄青ホームページ.  
[www.jodo-kks.com](http://www.jodo-kks.com)



Find us on  
**Facebook**  
フェイスブック始めました

### 第22期 神浄青 編集委員



野呂 宗幸



大橋 雄人



香川 隆真



坂本 慎成



鳥居 淳生



三浦 正順



小川 勉道



竹石 光流

神浄青ホームページ.  
[www.jodo-kks.com](http://www.jodo-kks.com)

神浄青

検索



活動テーマ 「深諦善念」

じんたいせんねん

Jodo-shin Youth Association of Kanagawa  
SINCE 1979